

事業コード	R3-建-継-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	道路課長 川辺 透
箇所名	由利本荘市鳥海町小川		担当者名	副主幹(兼) 班長 渡部 寿
プランとの 関連	政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	高速道路を補完し、広域交流を促進する幹線道路網の形成

1. 事業の概要

事業期間	H29 ~ R6 (8年)	総事業費	12.3 億円	国庫補助率	64.9		
事業規模	○延長L=940m、幅員W=6.5(9.5)m (1.5+3.25+3.25+1.5)m						
事業の立案 に至る背景	○国道108号は、宮城県石巻市～湯沢市～由利本荘市と太平側から日本海側を結ぶ重要な国道であり、由利組合総合病院等との医療機関や鳥海山等の地域の観光資源へのアクセス道路でもある。当該区間の車道幅員は狭く、急カーブ箇所もあることから、大型車とのすれ違い困難や旅行速度の低下が引き起こされているほか、死傷事故も多発している。道路利用者の安全を確保するとともに、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。						
事業目的	○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ・通過交通の排除による沿線住民である歩行者自転車等の安全性の向上 ○緊急輸送道路としての機能を確保(第二次緊急輸送道路)						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			前 回 評 価	今 回 評 価	増 減	理 由 等	
	事業費		780,000	1,238,507	458,507		
	内 訳	経 費					
		工 事 費	630,000	1,031,000	401,000	橋梁形式変更の増(橋長、基礎形式等)及び軟弱地盤対策の増	
		用 補 費	35,000	61,556	26,556	市上水道管移設補償、電柱移設補償の増	
	その他		115,000	145,951	30,951	橋台基礎形式検討のための地質調査の増	
	財 源 内 訳	国庫補助	546,000	803,791	257,791		
県 債		210,600	391,244	180,644			
その他							
一般財源		23,400	43,472	20,072			
事業内容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工		国庫補助率の変更による		
事業の進捗 状況	○令和2年度末で事業進捗率26%(用地進捗率は100%)						
事業推進上 の課題	○特になし						
関連する計 画等	○由利本荘市総合計画 ○重要物流道路の代替路・補完路に指定(R1.7.31)						
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○特になし						
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	整備率(整備済み延長/路線実延長)					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	94.1%		データ等の出典	道路課調べ		
	実 績 値 b	94.2%		把握の時期	令和3年4月		
達成率 b/a	100.1%						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○最小曲線半径が20mの急カーブ箇所は、大型車とのすれ違い困難、旅行速度の低下、死傷事故多発のほか、視距の不足による運転者からの歩行者発見の遅れなど道路利用者の安全に支障を来している。 ○当該工区では事故が多発しており、急カーブ付近では橋梁からの車両の転落による重大事故も発生しているため、早期に整備する必要がある。 	13点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○由利本荘市総合計画の中で道路網の整備が主要施策に挙げられており、国道108号は市を横断する幹線道路である。 ○道路線形、道路幅員ともに道路構造令の標準値を満足しておらず、車両の安全な通行に支障を来している。 	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○第二次緊急輸送路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○R1.7.31に重要物流道路の代替路・補完路に指定され、更なる機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である佐藤病院へのアクセス路線であり、早急な整備が必要である。 	28点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は 1.2であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 15.2億円 ・総費用の現在価値 12.0億円 ○発生土を盛土材に使用しコスト縮減を図っている。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度末の事業進捗率は26%である。(用地進捗率は100%) 	15点
判 定	<p>ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III)</p> <p>緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。</p>	91点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R3-建-継-04)
 箇所名 (由利本荘市鳥海町小川)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	・車道幅員5.0m ・最小半径 20m ・冬期堆雪巾なし 計3項目	
		2箇所	5			
		1箇所	3			
		該当箇所なし	0			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・走行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	7	5	・現道の事故率=70件 ・重大交通事故が発生 計2項目	
		2項目該当	5			
		1項目該当	3			
		該当項目なし	0			
計		15	13			
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	由利本荘市総合計画	
		なし	0			
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	5	5	幅員狭小および線形不良により死亡事故が発生	
		なし	0			
同一路線の整備状況	整備済み	5	5	整備済み		
未整備	0					
計		15	15			
有効性	道路の位置づけ					
	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6	第2次輸送路	
		第2次輸送道路	6			
		第3次輸送道路	4			
		指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	7	7	二次救急医療施設 佐藤病院 (由利本荘市)	
		アクセス性向上に貢献	5			
		アクセス性向上に一定の効果	3			
	観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献	7	7	鳥海国定公園 道の駅清水の里・鳥海郷 本荘1C	
		活性化に貢献	5			
活性化に一定の効果		3				
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	重要物流道路代替路・補完路		
	必要性が低下傾向	4				
	必要性が著しく低下	0				
計		30	28			
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.2	
		1.0未満	0			
	計画交通量	4,000台/日以上	5	5	4,100台/日	
		1,000台/日以上~4,000台/日未満	3			
		1,000台/日未満	0			
コスト削減	あり	5	5	発土生の工区内流用		
	なし	0				
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	大規模バイパス		
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
計		20	20			
熟度	事業の進捗進捗状況					
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	26%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	100%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
未着手		0				
計		20	15			
合計				100	91	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		